

東日本大震災での鉄骨置屋根構造の被害調査報告会の開催について (ご案内)

当協会ではこのほど、建築研究開発コンソーシアムとの共催により、下記のとおり標記の調査報告会を開催することといたしました。

[趣旨・概要]

東日本大震災では多くの建築物が被害を受けました。今回の地震で顕在化した被害の1つとして、鉄骨置屋根構造の被害があります。

鉄骨置屋根構造とは下部が鉄筋コンクリート造で、その上に鉄骨造の屋根が置屋根状に設置されている構造です。この構造は大型の体育館など大空間を持つ建築物に多用されています。体育館などは災害時の避難所として使用されることが多く、被害を受けた場合避難所として使用できなくなることもあり、これらの被害は社会的に大きな影響を及ぼすため、このような被害の発生は極力防止する必要があります。そのようなことから、建築研究振興協会では日本建築学会東北支部と共同し、これまで被害調査を行ってきました。

この度、調査が終了したこともあり、社会的に影響の大きいこれらの被害について建築関係の方々並びに行政関係者の方々などに被害の内容を知ってもらうことが重要であると考え、報告会を企画いたしました。多数の御参加をお待ちしております。

1. 日時 2012年8月30日(木) 14:00 ~ 16:00
2. 会場 日本建築学会 建築会館ホール 住所 東京都港区芝5丁目26番20号
3. 主催 一般社団法人 建築研究振興協会、
共催 建築研究開発コンソーシアム、つくば立原会
4. 後援(予定) 国土交通省国土技術政策総合研究所、独立行政法人建築研究所
5. 聴講料：(1)会員(建築研究振興協会(団体・個人、友の会)及び建築研究開発コンソーシアム会員・無料
ただしテキスト代1,000円を申し受けます。
(2)非会員…5,000円(テキスト代込み)
注)聴講料等は当日受付にてお支払い下さい
6. 定員 200名

7. プログラム (敬称略)

1) 挨拶 一般社団法人 建築研究振興協会 会長 山崎 裕

2) 空間構造特に学校体育館の耐震診断と補強の現状

耐震診断・耐震補強設計マニュアル改訂委員会委員長 廣澤雅也

(工学院大名誉教授)

3) 鉄骨置屋根構造の被害例

① N 体育館の被害 . . . 平塚正一郎 ((株) コンステック)

② I 体育館の被害 . . . 田中礼治 (東北工大名誉教授・建振協東北分室)

③ H 体育館の被害 . . . 田中礼治 (東北工大名誉教授・建振協東北分室)

4) 鉄骨置屋根構造の問題点 . . . 小野瀬順一 (東北工大名誉教授)

5) これからの課題 . . . 柴田明德 (東北大学名誉教授)

6) 閉会

(都合により講演者の変更もありえます)

<申込方法>(1)別紙申込用紙に必要事項を記載の上、メールまたはFAXでお申し込み下さい

(受講票は返送いたしません)

(2)会員は平成24年7月13日より受付開始

(3)非会員は平成24年7月17日より受付開始

申し込み〆切 平成24年8月20日(月)

定員になり次第締め切らせていただきます。

連絡・問い合わせ

主催 一般社団法人 建築研究振興協会 (担当 田中)

東京都港区芝5丁目26-20 (〒108-0014)

電話 : 03(3453)1281 / FAX 03(3453)0428

tanaka@kksk.or.jp

聴講申込書(建築研究振興協会)
東日本大震災での鉄骨置屋根構造の被害調査報告会
Fax 03-3453-0428 tanaka@kksk.or.jp

- 主催 一般社団法人 建築研究振興協会
東京都港区芝5丁目26-20 (〒108-0014)
電話: 03(3453)1281 / FAX: 03(3453)0428
- 共催 建築研究開発コンソーシアム
東京都中央区晴海1-8-12 トリトンスクエア オフィスタワーZ 4階
電話: 03-6219-7127 : FAX: 03-5560-8022
つくば立原会

1. 日時: 平成24年8月30日(木) 14:00~16:00

2. 場所: 建築会館ホール
港区芝5-26-20 建築会館

上記講演会の参加を下記のとおり申し込みます。(8月20日必着)

会員は平成24年7月13日より、非会員は平成24年7月17日より受付開始

ご芳名				
会員種別	建振協会員 法人 個人 名誉 友の会	つく ば立 原会	コンソー シアム	非会員
勤務先				
所属・部署				
電話		FAX		
メールアドレス				

(定員になり次第締め切らせて頂きます。その節は、メールまたはFAX等でご連絡いたします。)